



Friendship

No. 37

フレンドシップ・フォース愛媛



第38回受入れ フロリダ/アメリカ (10月12日-19日)

新しい年を迎えて

会長 峯 洋子

昨年は国内外大変厳しい年でした。このような中、皆様のご協力で無事二回の受入れ、一回の渡航を終えました。改めて感謝致します。こういう時こそ、フレンドシップ・フォースの「草の根の交流から世界平和を」という私達の活動の意気味は大きいと思っております。

今年の予定としましては、五月に一昨年訪問したイギリスのクラブ受入れ、六月に西部アメリカを訪問、十月にはオーストラリア受入れがあります。他にも色々楽しいプランが一杯です。この素晴らしい活動の輪を広げ、会員増加につなげたらと切に願っております。二〇〇八年度もよろしくお願い申し上げます。

皆の協力でできたフロリダクラブ受入れ

E D 久保 玲子

一年以上も前からフロリダのEDとのメール交換がありました。その間にEDがジョージア州のジョアンに変更。ホストが足りず、四組の非会員に受入れをお願いしたり、その後ホストやゲストがキャンセルしたりして、受入れ直前まで混乱続きでした。結局フロリダを中心に八つの州からの合同参加という形で、二十二名のゲストを迎えました。

EDは四度目というジョアンは大変気配り上手で、物事に冷静に対処できる女性でした。毎晩一緒に活動の準備をしながら話し合いました。八十五才を筆頭に高齢者が多かったため、到着までは、集団行動がとれるかどうかが一番の心配事でしたが、「自分の荷物と歩行に責任を取れる人」をアンバサダーに選んだというだけあって、広島・宮島ツアーでも問題はありませんでした。

ハイライトは新居浜太鼓祭りバスツアー。これは初めての試みでしたが、勇壮な秋祭りを私達日本人もわくわくしながら栈敷から見学しました。

とにかく今回の受入れでは、歓迎会ほかそれぞれの行事担当者が入念な計画のもと、最後まで責任を持って成し遂げてくれたことで、EDの負担がかなり減りました。回を重ねることに役割分担が徹底してきて、いい方向にきたのではないのでしょうか。ジョアンも、「我がクラブの参考になりたい」と感心してくれました。ホストをして下さった皆様、また、ホームパーティー、観光案内等、献身的なお手伝いをして下さった皆様、本当に有難うございました。この一週間、素晴らしいお天気に恵まれ、活動を一緒に楽しむことができたことを感謝したいと思います。

アメリカ、フロリダクラブ受入れ

2007.10/12 ~ 19

受入れ日程表

10月12日(金)	18:00 新潟より松山空港着
13日(土)	ホストと自由行動 (オプション) 内子見学
14日(日)	ホストと自由行動 (オプション) 松山城見学 ウェルカムパーティー(にぎたつ会館)
15日(月)	広島・宮島ツアー
16日(火)	潮見小学校訪問(午前中) 午後はホストと自由行動
17日(水)	新居浜太鼓祭りバスツアー
18日(木)	ホストと自由行動
19日(金)	11:15 松山空港発、伊丹へ

古稀の実・・・?

芝田 美奈子

「古稀の実」誰も見た事ないでしょう。

今秋、我が家で初めて実ったのです。アメリカから二人のご婦人を迎え、主人と私はカタコト英語で1週間共に暮らしました。文化も環境も異なる中で70年近く生きて来た4人が何とか通じ合えたのです。日本の着物を着たアメリカ女性は一瞬にして大和撫子に変身。はさみ将棋に興じる姿は日本の子供と同じ。そして最後に「日本女性の奥ゆかしさ」を見せ、二人は私の家を後にしました。感謝の気持ちを認めた手紙をお蒲団の上に置いて・・・。



Joy, A City Girl

大谷 恵

ジョイがやってきて第一声。

“Today is my birthday!” 何という素敵な偶然でしょう! その日は彼女の79回目のバースデーだったので。ベストドレッサー賞をあげたいくらいお洒落な彼女はこれでもか! というくらい原色が似合い、寝る時もネグリジェにお花の刺繍がいっぱい入ったレース付きのガウン。自らをcity girl と言い、マイペースでいて賢くて。亡くなったハズバンドの保険で大きな家があるからいつでも来なさいと、ウインク! 何と彼女、結婚歴4回! いくら憧れてもかないませんよねえ・・・(笑)



楽しいお喋り

久保玲子

笑顔の素敵なジョアンと85歳とは思えぬ美貌のシャーロット。アンチエイジングの話で盛り上がりました。願いは皆同じ!!



太鼓祭り

結城邦博



約2.5トンの太鼓台を150人ほどの男たちが、かついでいるだけでも壮観なのに、そのような太鼓台が24台目の前に並んでいる。それが一斉に掛け声をあげて動くさまに、アメリカのゲストたちは感動。質問好きのバーバラも沈黙。もちろん私も。一度は見たいと思っていた太鼓祭りを見られて感慨無量、しかも棧敷席から見られるなんて。お世話いただいた方々に感謝です。午後の少し荒れる太鼓台が見られなくて心残り。帰りの車窓から手を振ると、振り返してくれる人たちが、とても多かったのがうれしかった。

カラオケ

山岡佳巳

我が家の素敵なゲスト、ベティー & リンダ。名前を聞くと「キャピキャピガール」って感じを受けるが、とても落ち着いた女性でした。受入れ前、ベティーからメールがあり「日本ではカラオケが人気」と書かれていたので、カラオケに一緒に行きました。最初は二人とも「恥ずかしい」なんて言ってたけれど、マイクを握ったとたん二人は豹変、歌うわ踊るわ、まるで別人。こんなユニークな二人と知り合えて、とても幸せな気分です。次回の旅行は、フロリダに決まり!



フロリダの気さくな Cheryl と Lou

中西フサエ・皓

サブプライムローンで揺れるアメリカから、共同で不動産業を営み同居生活しているやや小柄なシェルとのっぼのルーがステイ。内子、松山城、大街道、広島ツアー、潮見小、新居浜太鼓台、三津の朝市、大可賀埠頭釣り人との交流、アイテム愛媛、ゴルフの練習、いか・たこ入り刺身やうどんなど日本の食と生活の全てに Wonderful と Great を連発。Our hearts will always be with you both. Visit with us soon. Much Love to You Both. だって。



80歳は年寄りじゃない!

田中肇・ひとり

我が家のゲストは80歳のキャロラインと79歳のフランス生まれのテレサ。住んでいる州は離れているが、時々一緒に旅行する友達。二人とも自分たちを年寄りだとは思っていない。「80歳は年寄りじゃない!」と言っていた。positive 思考、いつもユーモアとジョークで笑って、好奇心旺盛。私達は彼女達から歳を重ねる事のすばらしさと希望をもらった。



お好み焼きパーティー

高原由紀子

今回は2泊3日の短い受入れだった上に、二日ともにデイホストの方にお任せして、楽をさせていただきました。二日目の夕食は、何時ものように姪の家のお好み焼きハウスでパーティーをしました。ゲストとホスト8人と家族の5人とで賑やかでした。焼いたのは姪の夫、皆よく食べ、よく喋ったので、いつになく楽しかったと姪の家族にも喜んでもらえました。



さわやかな女性二人組

石丸和子

初めて引き受けたゲストは、アイリーンとパットというさわやかな女性二人組。お水を一日3リットル以上飲む酒豪ならぬ水豪で健康志向。「生魚がだめ」という他は何でも「おいしい」と言いながら召し上がり、どこにお連れしても(道後温泉、又新殿、砥部焼など)興味津々。マッサージ、スーパーでの買い物などにもチャレンジ。ステイル中、アイリーンの長男の病気が判明するというハプニングもありましたが、その異文化を楽しむポジティブな姿勢に共感しました。

ポリエステルよ

大坪絢子

「パートナーだけ夫婦として扱って」こんな前置きの2人は、同居7年とは思えぬ睦まじさでした。ある夕食後サリーの話題になりました。憧れのインドの衣装です。「階級の厳しい国で、絹を着る人と木綿とに分かれているの」とドリスが言った。「絢子は絹かしら」と聞かれた私、とっさに「ポリエステルよ、絹と木綿の真ん中の」と返答、これが爆笑を誘った。英語でこれ程反響を得たのは初めてで、一気に気持ちが通った夜でした。



ミッキー&ミニー?!

菊池 晶

フロリダから、トムとシェリルが我が家にやって来ました。とても素晴らしいご夫婦で、幸せを運ぶミッキー&ミニーの様でした。ハードスケジュールの中、娘の吹奏楽の演奏会や、息子のバレーボールの練習にも、顔を出してくれるなど、本当の家族の様でした。家族一同、素敵な出逢いに感謝しています。初めての受入れでしたが、今までにない経験ができ、貴重な一週間でした。

私達の初めての海外旅行は、フロリダに決定!あの笑顔に逢うために・・・



恋人同士

岡田偉子

Bill と Rita は曾孫もいるが恋人同士だ。ダンス教室で知り合ったとか。Rita はとてもおしゃれて美人。私に「パーティーに何を着ていくの?」と前日から質問したり、黒真珠のネックレスを羨ましがったり。Bill も何にでも興味関心を示してくれ、二人とも教育は受けていないと言ったが、聡明で心ばえがよかった。この私がお料理上手だと褒められ、Rita が天ぷらとしゃぶしゃぶのレシピを書き留めたのには、なんともくすぐったかった。



Bill & Rita

峯洋子

東京での甥の結婚式を終え、大慌てで松山に戻ったところ、岡田さんから感じの良い楽なゲストという情報が入り安心。

翌日パーティーの席で岡田さんとバトンタッチ。情報通りで、心配りの出来た気持ちの良いカップルでした。

空港で見送った後に帰宅してびっくり。彼等の使っていた部屋はきれいに片付けられており、お布団が見えない。今まで何十回と受け入れたが、最後にお布団を押入れにしまってくれたのは彼らを含めてたったの3組。この十数年間全く無かったので、まさに *A Nice Surprise!*

勘違いもまた楽し

池田啓子

2泊3日の日程だったが、エバリンとモニカの新潟での体験話には大いに笑った。大洲までのバスを待つ間、二人は話すこと話すこと。「朝食は簡単に、でもコーヒーは欲しい」が毎朝コーヒーのみ。二人はホストとのコミュニケーションを諦めコンビニで朝食を調達したとの事。当方の受入れ前日、新潟に電話をすると「少食でいつも笑顔の方々ですよ」とその奥さんは明るく応答。「うーんこうゆうのも有りかな」が今回の感慨です。



久しぶりの受入れ

矢野美保子

久しぶりの受入れだったが、今回は申し訳ないぐらい、良くもなく悪くもないのか、あまり記憶に残らない人たちだった。ただ、田中喜美子さんや犬伏さん等、デイホストをして頂いた人たちのおかげで、受入れの気力や体力のなくなった私は大変助かりました。有難うございました。

フロリダ受入れ

新居浜太鼓祭りバスツアー

佐々木佐知子

10月17日新居浜秋祭り二日目の朝は快晴に恵まれた。松山から総勢40余名の軍団を迎えるため、西条に向かう。ただ、立案し尽力してくださった山下会員が病気療養中でここにいないことに、一抹の淋しさを感じながらの幕開けであった。



連日の早朝出発で、当地に着く頃はお疲れがでているのでは？の心配をよそに、足元の悪い河原の道もなんのその。太鼓台の方にめがけて一目散に歩く後姿にひと安心。走り込

んできた太鼓台に「ファイヤー、ファイヤー」と大喜びの姿にまたまた安堵。新居浜市制70周年を記念して初めて栈敷が用意され、豪華絢爛に飾られた24台の太鼓台がよく見える。かき比べの迫力は相当なもので、皆どのチームが勝利を得るか目を見張った。このお祭りに新居浜の男性は血が騒ぐと言うと、このようなものを Man Thing というゲストが教えてくれた。

楽しい時間もあっという間に過ぎ、次は昼食をとり、ジャスコへ。濱井さんに後をお願いして、私たちは下車。昼食の後のコーヒータイムは会員の都合でキャンセルとなり、残念。人は動けばその分いろいろ問題が浮上し、直面し困惑もするが、それだけ成長もさせてくれることを実感した今回のイベントだった。

皆様お疲れ様でした。



フロリダ受入れホスト、デイホストの皆様、
大変お世話になりました。

デイホスト：田中喜美子、松木紀子、三好郁子
鈴本せつ子、佐藤学・洋子、佐々木佐知子、濱井勝子
中村緒由美、川端満子、松本千枝、有光佳代、
矢野和子、森岡茂美、松田正代、犬伏ちずる、
濱田博子、井出博美、大塚潤子、大西初美

私の再開物語

トルコ ウルルン滞在記

山岡 佳巳

一通のお誘いメールが届いた。2006年、我が家が受け入れたトルコの女性、SeraとCananから。嬉しくて、早速森岡さんを誘いトルコに向けてのプランを計画。英語の不得手な私は会員の方に助けていただき、私達の再会ウルルン滞在は始まった。

添乗員同行のツアーに入り7月7日トルコへ出発。11日まで一行と観光、その後、長距離バスでアンカラへ。車内は清潔で快適。飲み物、お菓子は「こんなに食べられな〜い」と叫びたくなるほど。アンカラ到着、



そこにはあのCananが！ 街は首相選挙真っ最中で、まるで運動会のような飾り付けで賑わっていたが、少し暗い印象も受けた。

さあCananの家に4泊滞在。Cananの運転の荒さ！ 方向指示器は出さない、センターライン関係なし、急ブレーキ、スピードOK！ “Wow!”と叫ぶと“ It's OK ”で終わり。しかし彼女の人柄の温かさ！言葉も通じないイスラム圏でどうなることかと心配したが、あちこちへ案内してくれ、行く先々で沢山の人々に紹介してくれ、楽しく友情を深めることが出来た。

この後Seraのサマーハウスのあるクシャダスへ。夏はヨーロッパからの観光客で賑わうリゾート地で街は洗練され、真っ青な空、常夏の楽園！彼女の家からはエーゲ海が一望、小高い丘に立ち並ぶサマーハウス、ここからの夕日は最高でした！トルコ語でパパ（お父さん）アンネ（お母さん）と呼ばせてもらい、遺跡巡り（エフェソス、パムッカレ）憧れのエーゲ海での海水浴など。パパが作ってくれたトルコ風パンケーキ、焼きボクレは美味しく、お互いの国のレシピを教えあったりした。彼女の誕生パーティーでは、お好み焼き、天ぷら、ケーキなど日本食は大好評！リビングには沢山の風船！今思い出しても胸が熱くなります。生活様式、習慣、文化が違ってても何の関係もないんだなあと実感！帰国する日の空港では涙が止まりませんでした。彼女から多くの刺激を受け一生の宝物になりました。



海山城展望台

北条の道の駅「風和里 = ふわり」

11月10日土曜日、気持ちのいいお天気の中、FF恒例の一泊研修会がここから始まりました。

私達は眺めのいい海岸沿いの「風和里」に早めに到着して、鯛めし、烏賊めしなどランチを食べ、道の駅ファンの私は、お芋の茎、こいも、ししとう、紫玉ねぎ、手作りおせんべいなどの特産品を買ってしまいました。お芋の茎はお料理法を聞いていたので、帰ってからお料理しました。おいしくできた！午後1時、合流したメンバーの人達と車6台に分乗してスタート。

菊間町の「瓦博物館」

普段の生活の目線では見られない屋根の瓦をじっくり見学。瓦作りの工程をつぶさに見ました。社寺の鬼瓦、飾り瓦もありました。郷土の歴史を学んで、少しは教養が身についたかな～？

大西町の海山城展望台

天気が良くて来島海峡、しまなみ海道、高縄山、西条市、新居浜市の遠景360度の眺望が楽しめました。う～ん、気分爽快。展望台への途中、前の車を見失い、落ち着かない気持で走っていましたが、後続車から携帯電話がかかり「左側を見て。」そこでやっと海山城展望台発見。よかった！せつ子さん、電話ありがとう！

今治城

今秋に完成した鉄御門（くろがねごもん）を見ました。落成した多門櫓の中の各部屋に使用された新鮮な材木からは、木のいい香りがしていました。昔々、お姫様も同じ景色を見ていたのかな～？何を考えていたのかな～？とか思いながら、城内を散策しました。

休暇村瀬戸内東予

ここで一泊。夕食はバイキングで、お刺身、たこのお料理、魚の南蛮漬けと海の幸いっぱい郷土料理。おいしかった！海に近いとやっぱりいいな～。温泉は夜、朝入りました。リラックス、リラックス。

夕食後参加者勉強会と歓談会

夜、部屋に集まり歓談。珍しい栗焼酎がほんのり甘く、お酒に全然強くない私でもコクと香りを楽しみました。自分のお土産に栗焼酎を買いました。エへへ…。FFでホームステイしたことがないので、色々な経験のお話をお聞きして有意義でした。

野々瀬古墳群

翌朝9時30分に休暇村を出発。古墳群では7世紀の古代人の墓の穴を興味深く覗き込みました。道路近くや畑の中に大小の古墳がありました。多伎宮古墳群山麓の多伎宮と、すぐ裏の林の中の古墳群も見ました。

玉川美術館

美術館に行く途中、佐藤さんお勧めのお饅頭を買って、入る前にベンチで食べました。出来たては温か、ホカホカでおいしかったです。館内には藤田嗣治、ピカソなどの作品もあり、また、緑、赤などテーマ別のコーナーもありました。

絵の鑑賞の後、おうどん屋さんで昼食とって解散となりました。暖かでお天気にも恵まれ、楽しい有意義な一泊研修会でした。皆様、いろいろお世話いただきありがとうございました。



参加者 17名：池田啓子、大坪博之、佐藤学・洋子、鈴木英紀・節子、田中喜美子、中西皓・フサエ、中村緒由美、松田和正・正代、峯英司・洋子、三好郁子、矢野美保子、結城邦博

手仕事の会

(9月20日 佐藤さん宅で)



楽しかった「手仕事の会」 矢野 和子

会員相互の親睦が目的とお聞きして、柄にもなく、先生役を引き受けました。

作品は袖やズボンの裾をたくし上げるのに便利でアクセントにもなるホルダーです。メールに添付した写真が可愛くて皆さん興味を持たれ、参加者多数で感激しました。予定の黒一点の男性が都合で欠席となり、女性(13人)のみの集まりとなったのが残念です。女性が集まってキルトを作る様子を英語でチャタリングビー(お喋り蜂)というそうですが、まさしく言い得て妙。

2時間足らずの作業のなかで、材料の布の好み、手先の動き、お互い堅苦しい集まりでは見られない、思わぬお人柄を発見出来るよい機会になりました。会場を提供して下さった佐藤さん、美味しいお菓子を用意して下さった田中さんありがとうございました。

「手仕事の会に参加して」 松本 千枝

2007年8月、FFに入会し、9月には早速、手仕事の会に参加しました。裁縫が得意だった母には似ず不器用で、家庭科の宿題はすべて母任せという有様でした。けれども、作り方を教えて頂いたり、生地を交換したり、おしゃべりしたりしているうちに、いつの間にかそれなりにコツを覚え、気持ちもほぐれていきました。そうすると、今度は手のほうがお留守なので、この日の「作品」の出来についてはご想像にお任せします。

その後も楽しかったこの集まりを思い出しながら、いくつか仕上げました。母に届けると、「かわいいねえ…」もちろんアームバンドのことです。



を あ・る・く 岡田 偉子

12月9日(日) 「北条の一茶の道」を歩く道の駅「風和里」=ふわり~鎌大師~大通寺~最明寺~高橋邸の一茶の句碑~国津比古命神社~門田邸の句碑 (約7キロ)

佐藤学さんの立案したFF愛媛恒例のハイキングのコースを見て、ぜひ参加したいと思った。一茶の道は我が故郷の里山沿いの古道である。

冬晴れの穏やかな瀬戸の海を見ながら「ふわり」を出発。すぐに里山沿いの道に入り鎌大師へ。200年余り前の旧暦1月、一茶は今治から北条を通って松山に来た。「北条の一茶の道」はここから始まる。大通寺を過ぎて200歩程の所で、美しく紅葉した里山と民家とを振り返り、学さん大いに感激。「昭和初期の日本の原風景だなあ〜。」

(13日風早難波村、茶来を尋ねけるに、已に15年前に死きとや。)

最明寺で宿を断られた一茶は、近くの〔高橋〕五井を尋ね当て泊めてもらう。旧暦1月といえばまだまだ寒い。どんなにか心細かったことだろう。

朧々ふめば水也まよひ道

月朧よき門を探り当てたるぞ

旧高橋邸はすでに家は取り壊され、月朧よき門を・・・の句碑は枯れ草や雑草の中にあっただが、その風情が自然でよかった。

ここから古道をそれて舗装された道を一直線に田んぼを横切り、立岩川の土手を上り、国津比古命神社へ。途中、深い赤や茶色に染まった里山の稜線が冬空にくっきりと曲線を描き、一茶もこの同じ風景を見たのかと思うと感無量。

(14日十丁程八反地村(門田)兔文に泊まる。

15日松山二畳庵に到る。)

丁度門田家当主のご夫妻も在宅していて、句碑を見せてもらった。

門前や何万石の遠がすみ

我が先祖の墓に参り、「ここは菩提寺だ」「あそこの小学校を卒業した」「この氏神様の夏越祭には毎年

来た」などなど、二人の洋子さん(佐藤・峯)を巻き込んだ私のセンチメンタル・ハイキングでもありました! 16735歩。



第21回
The 日本大会 in 山口
10月20, 21日

FFIからはGoerge Brown 会長夫妻。韓国ソウルと台湾から6名、日本の24クラブから180名余り、総勢約200名という盛大な日本大会が宇部市に於いて10月20, 21日に開催されました。フロリダ受入れの翌日だったにもかかわらず、愛媛クラブからは久しぶりに6名参加しました。

今回は例年の分科会の形式は取らず、担当の山口クラブより前もってアンケートが送られてきて、そのアンケートの回答に基づいた議題を全体会議で話し合いました。議題としては非会員の渡航、国内交流、高齢者への対応、組織内の活動のあり方及び活性化、後継役員

の育成等でした。その後代表者会議があり、昨年より持ち越していた議題、日



本大会は年1回開く事に決定。但し2008年度は例外で、2009年春に西東京クラブが開催することに決定。

翌日は山口クラブのお世話で“維新のふるさと”ツアーに参加。秋吉台から松下村塾、萩焼、萩城を見学して帰路につきました。 (峯 洋子)

西日本ブロック会議に参加して



昨年11月24日に、広島クラブ主宰で、西日本ブロック会議が行われました。会場は、三次市甲奴という町にある「ジミー・カーターシビックセンター」でした。西日本各クラブからの参加者は、議題の「受け入れ・渡航」を中心に、問題点や対策などを多岐にわたって熱心に討議しました。どこのクラブも、抱えている問題点は似ているようでした。最後に、この西日本ブロック会議は、決議機関ではなくて、お互いの情報交換の場であるということが確認されました。夜は、近くの矢野温泉で泊まり、吉備高原の豊かな自然の中で疲れた体を癒すことができました。翌日は、広島クラブ会員のお世話で、三次市のすばらしい美術館での鑑賞を楽しむことができました。広島クラブは、FFの歴史は浅いようですが、FFへの取り組みが活発で、今後が楽しみなクラブと感じました。 (鈴本 節子)

FF愛媛・事務局だより

《2008年・主な活動予定》

- * 春季総会 2/3(日) * 夏季総会 8/3(日)
- * ワールドFFデイ 3/1 13:00-15:00 於: COMS(コムズ)松山市三番町6-4-20
- * 受け入れ オックスフォードシャー(英) 5/20~27 ED: 田中喜美子
 ニューカッスル(豪) 10月半ばころ ED: 岡田 偉子
 受け入れのホスト、デイホストを募集しています。ご協力をお願いします!
- * 渡航 イーストWA・ノーザンID(米)/カナダ旅行 6/18~7/1 ED: 峯 洋子
- * クラブ内親睦関係行事

ハイキング(3/30) 県総合公園から坂本地域方面を予定していますが、詳細は後日連絡します。
手仕事の会、一泊研修、忘年会(12/7)についても、内容が決まり次第連絡します。

- * 世界大会 10/2~5 於: ゴールドコースト(豪) * 西日本ブロック会議 時期未定

《新入会員のお知らせ: 2007年8月以降》(敬称略)

松本千枝、大塚潤子、石丸 明・和子、岡田美喜雄・弘子

《FF Japanのホームページ内・「ようこそ愛媛クラブへ」紹介》

サイトURL・<http://www.friendshipforce.jp/ehime/index.html> から訪問できます。
FF愛媛の会報も載せていますので、ぜひご覧ください。

会員自己紹介

松山市

山岡 佳巳



2006年に入会して、ウクライナ、トルコ、イギリスと受入れを体験しました。

初めての受入れの時は言葉の問題、食事の問題など心配しましたが、人間言葉が通じなくとも、心と心が通じ合えば、言葉以上に分かってもらえるものだと実感いたしました。これからも出来る限り受入れをしようと思っています。

今後とも宜しくお願い致します。

2006年入会

2006年入会

松山市

川端 満子



「アメリカへ行かない？」という森幸子さんの誘いに「行きたい！」と答えて、会員になったのは1997年のことでした。初めての渡航があまりにも素晴らしかったので次の年のオーストラリア渡航にも、当時中学3年生の長男と共に参加しました。

同じ年の4月にドイツ人女性を受入れ。

2001年にニュージーランドに渡航。

2006年にドイツ・イギリス渡航を経験。

ずっと仕事の合間を縫っての活動しかできなかったけれど、春には晴れて定年退職！これからの楽しみです。

1997年入会

松山市

森岡 茂美



私とFFとの出会いは、お友達のにげない言葉でした。「世界の人とこの松山でふれあえますよ」その言葉にみちびかれるまま、今になりました。メンバーの楽しいつどいにも、何度も参加しました。歴史を感じました。また、同じ空気が吸えるのが嬉しかったです。教科書で見る世界と実際肌で感じる世界、こんなにも温かで、こんなにも身近であることに気が付きました。私のなかの国際交流です。この出会いを今からも「細く長く」をモットーに。よろしく申し上げます。

2006年入会

新居浜市

佐々木佐知子



2004年4月、Ohioからのゲストお二人のデイホストをしたのが、私のFFデビューでした。茶道、華道を体験して頂いたときに、日本人より日本人らしい仕草や考えにカルチャーショックを受けた事が、昨日のこのように思い出されます。

異文化交流の輪が広がる活動の素晴らしさに乾杯！！

2004年入会

訃報 2006年度まで理事でいらした山下博之さんが1月6日お亡くなりになりました。

山下博之さんの思い出

濱井 勝子

お祭りの太鼓の音をどんな気持ちで聞いていたのでしょうか。

昨年秋、フロリダからのゲストを新居浜太鼓祭りの見物に招待いたしました。その受入れ準備に体調の優れない体を押し、率先して私たちを引っ張って下さいましたが、当日には、松山の皆さんと会うことすら出来なくなっていました。お祭りの報告のメールを送りましたところ、力を振り絞って書かれた短い5行の文章の中に「安心しました」とありました。山下さんのご冥福を心よりお祈り申し上げます。

編集後記 2008年がスタートしました。私たち広報委員はパソコンにも大分慣れ、皆様からお寄せいただいた原稿や写真などを何とかまとめることができるようになりました。更に皆様に楽しんでいただけるような紙面作りを目指して努力をしたいと思いますので、ご意見があればお寄せください。また会報の編集にご協力いただける方を募集しています。

編集発行 2008年2月3日
編集者 久保、岡田、田中(喜) 峯

フレンドシップ・フォース愛媛 No. 37
〒791-0243 愛媛県松山市平井町 3157-185 T & F 089-975-8316